

# 特攻勇士に感謝と敬意を



昭和19年10月25日、ここフィリピンマバラカット西飛行場から、関大尉以下の敷島隊が飛び立ちました。今年はこの時から80周年に当たります



出撃日に因み、令和5年10月25日、慰霊碑前において執り行われた慰霊祭。



第148号

公益財団法人 特攻隊戦没者  
慰霊顕彰会

編集人 金子敬志  
発行人 石井光政  
印刷所 株式会社 SGネクスト  
ホールディングス

目次	
令和6年度慰霊行事予定	2
特攻80周年・103歳多田野弘氏訪問記	3
新年の御挨拶	4
年頭の御挨拶	5
新年によせて	6
年頭の御挨拶	7
新年の御挨拶	8
謹賀新年	9
(特攻隊戦没者慰霊顕彰会理事長岩崎茂)	
(茶道裏千家大宗匠千玄室)	
(靖国神社宮司山口建史)	
(世田谷区長保坂展人)	
(理事鮎田英一)	

謹 賀 新 年

公益社団法人 隊友会

会 長 折木良一

理 事 長 岩崎茂

常務理事 徳地秀士

常務理事 岩田清文

常務理事 山村浩

(総務担当)

事務局長 藤井貞文

公益財団法人 偕行社

会 長 志摩篤

副会長 深山明敏

相談役 熊谷猛

相談役 森勉

理 事 長 火箱芳文

副理事長 岩田清文

専務理事 内田益次郎

事務局長 山越孝雄

公益財団法人 水交會

会 長 杉本正彦

副会長 佐賀幾雄

理 事 長 河野克俊

専務理事 村川豊

事務局長 徳丸伸一

航空自衛隊退職者団体

会 長 つばさ会

副会長 齊藤治和

副会長 杉山良行

副会長 片山隆仁

副会長 藤田信之

副会長 谷井修平

副会長 福永充史

専務理事 小城真一

公益財団法人 大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会

会 長 安倍昭恵

理 事 長 山下輝男

専務理事 伊藤隆

常務理事 國澤輝生

東郷神社

宮 司 福田勉

東郷会

会 長 伊藤康成

副会長 田内浩

兼理事長 伊藤和雄

編集長 足立晴夫

事務局長 足立晴夫

一般社団法人 日本郷友連盟

会 長 森勉

副会長 廣瀬清一

専務理事 越智通隆

常務理事 富田稔

理 事 袴田忠夫

理 事 佐藤誠喜

公益財団法人 特攻隊戦没者慰霊顕彰会

会 長 藤田幸生

理 事 長 岩崎茂

副理事長 岡部俊哉

専務理事兼 事務局長 石井光政

理 事 臼田智子

理 事 鮎田英一

理 事 大穂園井

監 事 久納雄二

監 事 福江広明

監 事 阿部軍喜

監 事 羽瀨徹也

## 新年の御挨拶



公益財団法人  
特攻隊戦没者慰霊顕彰会

理事長 岩崎 茂

いつも特攻隊戦没者慰霊顕彰会（以下「特攻隊顕彰会」）の機関紙である「会報」をお読み頂いている会員の皆様、そして普段から、特攻隊顕彰会にご理解・ご支援、ご協力そして叱咤激励を下さっている皆様、

新年あけましておめでとугоいいます。

新たな気持ちで穏やかに新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

ここ約3年半に亘るコロナ禍で、靖國神社での特攻隊慰霊祭を始め各地での慰霊行事が中止となったり、規模が大幅に縮小されたりしております。長い間、この様な事態が続けば、これまで培って参りました慰霊行事の蓄積・ノーハウが薄れてしまい、次の立ち上げが大変になるのではと懸念しておりますが、昨年

漸くコロナが第五類となった事を受け、多くのところで、以前とほぼ同じような慰霊祭が執り行われました。

私自身も何箇所かの慰霊祭に参加させて頂きましたが、以前より、規模的に縮小気味のところもありましたが、逆に以前よりも多くの参加者が集まっていた慰霊祭もあり、取り敢えず「ほっと」しているところですが。今後は、コロナ以前の様な慰霊祭に戻していく事が必要と考えております。

また、今年の10月25日には、特攻隊が最初の任務を成し遂げてから80年を迎えることから、是非、フィリピンのマバラ

カット市の西飛行場で我々、特攻隊顕彰会が主催する慰霊祭を執り行いたいと考えて、準備を行ってきたところですが。この様なことから、昨年は、鮎田英一理事を訪問団長として、國分雅宏評議員、太田賢照評議員、及川昌彦評議員及び竹内ひとみ会員（フィリピン在住）の5名が、現地での慰霊行事に参加致しました。この際、在マニラ日本大使館からは越川大使代理として秋葉1空佐が、フィリピン空軍からはブランコ少将、そして現地のアレイ・ペレス観光局地域局長を始め多くの地元の方々にもご参加して頂き、厳粛に執り行うことが出来ました。これも多くの方々のご尽力を頂戴し、なし得た慰霊祭だったと感謝しております。プレ

80周年としては素晴らしい慰霊行事が出来ました。今後の弾みになると考えております。今年は特攻隊80周年という節目の年ですので、フィリピンでの慰霊事業のみならず、いろいろな企画をし、特に広報・募集に尽力し、特攻隊の会員減少に歯止めをかけたかと考えているところです。

また、各県等の護国神社への「特攻勇士之像」の寄贈も少しずつ進んできています。この事業もコロナ等でやや低調でしたが、今年以降、積極的に進める所存です。是非会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、残念ながら、世界情勢は我々の望まぬ方向へと進んでいるように見受けられます。一昨年2月にはロシアが急遽ウクライナに侵攻し、未だに戦火が止んでおりませんし、昨年にはハマスがイスラエルを不意に攻撃し、これにイスラエルが反撃を加える戦闘が行われており止む気配がありません。我が国周辺では、弾道弾の発射試験が度々繰り返されていますし、東シナ海や南シナ海では力による現状変更が堂々として行われております。世界は益々不安定化し、混沌としてきております。

願わくは、今年はいろいろな争いごとが鎮まります様、在天の御英霊にお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

「新年によせて」



（特攻隊戦没者慰霊顕彰会会員）  
茶道裏千家大宗匠 千 玄室

甲辰の新年を恙なく迎えられたことお喜び申します。

昨年は、学徒出陣から八十年という事で色々それどもにまつわる話題が出ていた。

私自身も学徒出陣により徴兵検査を受け、第十四期海軍飛行専修予備学生として白菊特別攻撃隊員となったが、待機命令によって終戦を迎えた。百歳を迎えたことと相まってインタヴィーなどを数多く受けた一年だったが、どこも質問してくることは殆ど同じ様なものであった。即ち「学徒出陣となった時の心境」「特攻になった時の気持ち」等々。

当時の社会状況をご存じない今の方々に、お話ししても何か実感が湧かないようだ。従軍する事を拒否する事など出来はしないし、特攻編成と言われればそれは命令以外のなにものでも無く、従うのが当たり前という事であった。

日々の訓練の中で「お前達は死にに來たんだ」と言われ続けた。死ぬことが怖くない者などいないと思うが、その様な事を言えるわけもなくまたそれが当たり前だという雰囲気であった。感覚が麻痺していたのであろう。

ある日の飛行訓練後、いつもの様に飛行服のまま車座になり皆に茶を点てていたとき戦友の一人に「生きて帰ったらお前とのこの茶室でほんまもんの茶飲ませてくれよな」と言われ、聞いた瞬間に背筋がぞつとした。

「ああ俺達は死ぬのだ」という実感が湧いたのだ。それまではやはりどこか他人事に思えていたのだろう。

昨年は戦後七十八年と言われ、今年には戦後七十九年と言われるのである。

以前は五年毎十年毎の切りの良い時には、それなりに一年を通して報道されていたこともあるが、それ以外の年は殆ど終戦記念日前後の八月に取り上げられる程度であったと記憶する。それがここ数年は毎年、通年で戦争の事を取り上げている

気がする。それだけ歴史の中に埋没し、皆が実際に日本が戦った事を忘れそうだと危機感の表れだと思ふ。

私はある年齢まで戦争の話の人様にするのが嫌であった。しかし今では実際に体験した人が殆どいなくなってきたので、ここで語り継がなくては本当に実際に起こったことを知ってもらえない、との思いで講演などをする様になった。今も尚、私の肩には亡き戦友がいる。彼らが私の背中を押している気がするのだ。

今、ロシアのウクライナ侵攻やパレスチナ問題で世界が割れている。以前の朝鮮戦争やベトナムの戦争の折はよく「代理戦争」との言葉を聞いたものだが、今やロシアが表に出てきてしまっている。

第三次世界大戦になるのかと世界中が注視しているなか、「最悪には核戦争になる」などの話も聞く。

そのほかの地域でも、民族間や宗教上の問題で小競り合いは多々ある。

日本は、アメリカの核の傘の下に守られていると言う安易な気持ちでは駄目なのだ。「平和」という言葉は、そこに争いがあるから使われるのであって、戦争を語り継ぐ者として平和という言葉も早く来てくれることを切に願う一年である。

「年頭の御挨拶」



靖國神社 宮司 山口 建史

明けましておめでとうございませう。

令和六年甲辰年の新春を迎え、まずは謹んで皇室の弥栄を寿ぎ奉り、我が国の平安と貴会の益々の御発展を祈念申し上げます。

新型コロナウイルスが発生して以来、私たちは未知のウイルスに強い不安を抱き、日々発表される新規感染者数に一喜一憂し、出口の見えない混沌とした状況からいつ脱却できるかを模索してきた三年間でございました。しかしながら、昨年感染症法上の位置付けが「五類」に引き下げられ、私たちの社会活動は平常化に向かい、

当神社でもみたままつりや秋季例大祭は規制を設けること無く齋行申し上げることができ、参拝者もコロナ禍以前の約八割まで回復するなど徐々に明るい兆しが見えつつあります。これも偏に御祭神の御加護の賜物であると深く確信し、改めて感謝申し上げます。

さて、本年は関行男海軍大尉を隊長に神風特別攻撃隊が編成され、敷島・大和・朝日・山桜隊に区分された特攻機が出撃してより八十年の節目の年を迎えます。多くの若者が家族の幸せを念しながらも、祖国の安寧を願い、至純崇高な殉国の精神を以て敢然と任務を遂行されました。

身一つに 国のつとめを 負ひ持ちて  
征く武夫ぞ 尊かりけり

これは、人間魚雷「回天」の搭乗員に送られた女子挺身隊の和歌です。乙女らは特攻隊員と少しでも痛みを共に分かち合いたいと血書で認め、赤誠を捧げました。銃後の国民もまた、未曾有の国家存亡の危機の中で一体となり身を挺して立ち上がりました。

来年は大東亜戦争終戦より八十年を迎

えます。世代交代が著しく進行する中で、戦争の記憶が徐々に風化していくことが最も危惧されております。現在、私たちは等しく豊かな生活を享受してありますが、これは当然にして存するものではなく、先人たちの掛け替えのない尊い生命と祖国復興への弛まぬ努力の礎の上に築かれたものです。この事実をより多くの方々に正しく継承すると共に、明治天皇の宣らせ給うた「安國」の聖旨に基く御祭神の奉慰顕彰は私たちの揺るぎない責務であります。

結びにあたり、国内外の情勢は未だに混迷を極めておりますが、当神社御創立のよって立つ安國の理想の実現に向け、皆様方の御指導を仰ぎながら一意邁進してまいる所存でございます。本年も皆様方にとりまして実り多き年となりますよう祈念申し上げます、新年の挨拶とさせていただきます。

「新年のご挨拶」



東京都世田谷区長 保坂 展人

新年明けましておめでとうございます。皆様には、令和6年の新春を健やかに迎えられたこととお喜び申し上げます。ここで、式典で読み上げました文章の一部をご紹介します。

『戦後から、今年で78年が経過し、戦争の記憶と平和の大切さをともしれば見失いがちになる中、先日、「代沢国民学校の疎開生活」のDVDを見る機会がありました。その中で、長野県の本郷村の浅間温泉に集団疎開をされた松本明美さんが、語り部として特攻隊員の方との交流を語られています。動画の中では、昭和

19年8月から疎開していた代沢小学校の松本さんたちのいる寮に、翌昭和20年の2月に6人の特攻隊員の方が来られたとのこと。少し長くなりますが、松本さんのお話を紹介させていただきます。

6人は、航空兵ということでしたが、訓練から帰ってきてからは、手をつないで散歩をしたり、夜になると宿題を見てもらったり、男の子は一緒にお風呂に入ったりと仲良くなりました。兵隊さんに、色紙を書いてもらったり、一緒に写真を撮ったりします。その兵隊さんのお一人とお散歩して、郷里の優しいご両親のお話や実家はお米を作っている農家などのお話を聞いたあと、「もし、ぼくが生きて帰ることができたら、ぼくのお嫁さんになって欲しい」と言われました。そのときはびっくりして、何の返事もできなかったとのことです。

いよいよ出発という時に、朝早く、今まで見たこともないような立派な軍服を着て、サーベルを下げて、「今からいつてまいります」と言って出発されました。子どもたちは、「どこにいくんだろうね」と思っていたのですが、寮母さんが「あの方は特攻隊の兵隊さんだったのよ」と教えてくれたそうです。特攻隊を知らなかったので、職員室の先生に聞くと「特攻隊

というのは特別な優秀な方が訓練を受けて、いざ出撃となると遺書を書いて敵艦めがけて体当たりをして亡くなるんだ」と聞いてものすごいショックを受けたそうです。そして、4月初めに、子どもたちのいる寮に、手紙が届きました。

「えんぴつ部隊の諸君お元気でお願いします。兵隊さんたちも明日いよいよ出撃であります。必ず敵を撃沈させますよ。みなさんがこの手紙を読んでいる頃は、兵隊さんはこの世の人ではありません。浅間の宿泊中は共に遊び、共に学んだこともありましたね。本当にお世話になりました。敵をやっつけるまでは死すとも死せず必勝を誓います。にっこり笑って散っていきます。ではお元気で次の世をお願いします。」

このお手紙の中には、茶色くなった桜の花びらが入っていたとのこと。

このDVDを見終わって、特攻隊員の若者たちの思いを考えると、心が締め付けられました。短い間の子どもたちとの交流の中で、18歳から20歳までの若者たちが、次代のことを子どもたちに託す言葉が、子どもたちのえんぴつ部隊にあって手紙の中に表れているものと感じます。改めて、戦争の痛ましさと過酷さを痛感しているところです。』

世界に目を向けますと、ロシア軍によるウクライナ侵攻や、イスラム組織ハマースとイスラエル軍の軍事衝突などにより、今なお、激しい戦火の中で、多くの犠牲者が出ています。即時停戦と、和平の実現を願ってやみません。

私は戦争の記憶と、平和の礎となった先人の思い、そして歴史の教訓をいかに後世に伝えるのか、日々思いをめぐらせてまいりました。かつての戦争をめぐる体験や事実も、世代を超えて語り継がれることが重要であると信じて疑いません。世田谷区でも、昭和60年に平和都市宣言を行い、平成27年には平和資料館を開館して戦争の悲惨さを伝える努力を続けております。改めて、ぜひ若い方々に平和の大切さを広く伝える場として紹介していただきたいと思えます。

わが国は戦後70年以上に渡り世界中のどの国とも1度も戦火を交えることなく、平和の歴史を積み重ねてまいりました。遠ざかる歴史の中で、その教訓を後世に伝えてきた皆様をはじめ、先人のご努力あつてのことと存じます。平和の大切さを、皆様とともに次の世代にしっかりと伝えてまいりたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

特攻80周年にあたって・・・103歳  
多田野弘氏訪問記

理事 鮎田英一

「多田野弘氏を囲んで」



今年、昭和19年10月25日に、フィリピンマバラカット飛行場から特攻機が飛び立ち、最初の攻撃を行ってから80年。

これを見送られた、多田野弘氏（株式会社タダノ名譽顧問）を訪ね、当時のお気持ちと模様等を伺うとともに、昭和50年に現地で行われた慰霊祭において、多田野氏が読まれた追悼の辞をお預かりしたので、紹介します

香川県高松市、源平の古戦場で名高い屋島を間近に臨む多田野氏のご自宅を、石井専務理事、高松評議員、鮎田理事で

お訪ねしたのは、昨年11月下旬、晩秋とは思えぬ暖かな日でした。多田野氏は百三歳のご高齢にもかかわらず、当方からの質問に対して終始わかりやすく、しっかりとした口調でご対応下さいました。

多田野氏は、日米開戦当初から志願して航空機整備兵として戦地に派遣され、マーシャル群島ルオット島、ニューブリテン島ラバウル、パラオ諸島ペリリュー島そしてフィリピンのルソン島にと激戦地を転戦されています。特にルソン島マバラカット西飛行場では、201航空隊の一員として、ご自身が整備されたゼロ戦に乗り込む、関大尉率いる敷島隊などの特攻出撃を目撃されていることから、先ず当会より、令和5年10月25日にマバラカット西飛行場において当会が主体となって斎行した特攻隊戦没者慰霊式典の模様をご報告しました。

既に多田野氏は、昭和50年にマバラカット東飛行場跡、平成20年及び平成21年に飛行場近傍の平和観音宮における特攻戦没者慰霊祭に参列されておりますが、今回は、特攻の初戦果が確認された10月25日を期しての、マバラカット西飛行場跡における慰霊式典でしたので、式典の流れや、飛行場跡記念碑の建立に尽くされた故ダニエル・ディソン氏のご子息たちの参列、現地の景観なども詳しくご説明

いたしました。

多田野氏は、西飛行場跡地の草蒸した風景や防空壕の跡の写真をご覧になり、当時は兵舎も満足にないところでよく生活したものだと言時を懐かしまれ、また、今回の慰霊祭にフィリピンの現地の多くの方々が無理解協力してくれたことを聞かれると、とても喜んでおられました。

当方から、大西第1航空艦隊司令長官の姿を見かけたことがありますかとお尋ねしたところ、「あります。総員集合、見送りの位置に付けが下令されたあと、遠くからであったが、特攻隊員と長官が水盃を交わすところを見ました。」と、それまでの穏やかな表情が一変し、驚くほど力強い声で、こう語られました。

「飛行機に向かって、目の前を通り過ぎる隊員たちの顔は、緊張しているかと思つたが、意外にも晴れ晴れとしており、しかも凜として輝いて見えた。操縦席から我々に手を振って出撃して行く隊員の姿に、これは人間業ではない、神の化身かと見紛うほど神々しく感じられた。皆、私と同世代の若者であり、中にはラバウルから共に戦ってきた者もいた。祖国の危機を救うため進んで命を捧げようとする姿に感動で打ち震え、私も彼らとともにフィリピンの土になるのだと誓いました。」



ラバウル基地での写真（いずれもが中央が多田野氏、ラバウル以降は戦闘でカメラを失い私的写真は存在しない）

出撃風景を思い出され感極まった多田野氏の目からは涙があふれ、私達一同もしばし肅然として涙を禁じ得ず、そしてまた、初の特攻隊出撃に立ち会った歴史の生き証人のような方から、貴重なお話を伺うことができた有難さをつくづくと感じました。

その後、多田野氏からは、戦時中に自分のカメラで撮影されたラバウルでの写真や、健康増進のために続ける良き習慣のご説明などを伺い、最後には、最近作った「葬儀の心得」の中で、自分の棺は『海軍旗』で覆い、葬送曲として『海

行かば』を流すように決めたこと、『遺骨』は海に散骨すること、などを教えられました。今もなお、多田野氏の胸中には海軍魂がみなぎっていることが良く分かります。

多田野氏との懇談は当初の予定を越えて長時間に及び、ご健康への影響が心配されましたが、私どもをお見送り下さったお姿は明るく元気にあふれ、また来年も、マバラカットでの特攻戦没者慰霊祭の模様を報告に伺うことをお約束し、ご自宅を後にしました。

昭和50年にマバラカット東飛行場で慰霊祭を斎行した時、多田野氏が代表として読まれた弔辞です。

### 追悼の辞

「謹んで第201航空隊の英霊に対して、隊員を代表して追悼の辞を申し上げます。第2次世界大戦に、この地に散華された多くの英霊に対する追悼慰霊祭は、永い間私たちの念願でありましたが、戦後30年を経た今日、中野司令以下、元隊員ならびにご遺族の方々と共に、この由緒深きマバラカットにおいて行えますことは、この上もない喜びであります。

私たち201空は世界に類のない神風特攻隊の母体であることを最上の誇りとしています。思えば、私たち201空は、マーシャル群島を振り出しに、ラバウル・サイパン島・ペリリュー島、セブ島・マバラカットの南東太平洋の主戦場を基地にしてよく戦いました。しかし、戦局我々に利あらず、遂に当地域は祖国日本の最後の防衛地となりました。私たちはこの地に来て、ここが俺たちの死に場所だ、一億同朋を守るために喜んで死のうと、一点の私心もなく、神のように崇高な気持ちになつて、誰もが進んで死地に飛び込んで行きました。

しかし、運命の神はあなただけを召され

て、私たちをこの世に残してしまわれました。同時にかつて神風特攻の発進基地であった、当マバラカットにも限らない愛着を覚えるのです。おそらく、神風特攻を生んだ201空と、当マバラカットの名は世界史上にその名を留め、未来永劫、人々に語り伝えられることでしょう。今、夏草茂るかつての戦場に立って、静かに瞑目すると、懐かしいあなた方の元氣な顔が浮かんでまいります。そここの草のかげから「おう、きてくれたか」と飛び出して来そうな気がします。

以来、残された私たちは、あなた方の死を無にせぬ為に、祖国の再建に取り組みました。見てください。30年を経た祖国日本の姿を。今や経済大国として世界をリードし、又世界無比の平和憲法を持つ国として、世界の平和に貢献する偉大な国となりました。あなた方の尊い死が決して無駄でなかったことを、ここでご報告申し上げますと共に、これからの私たちの行く手をいつまでもご覧下さいませよう、お祈りいたしました追悼の辞といたします。」

昭和50年8月10日フィリピン・マバラカット追悼式

元201空隊員

上等整備兵曹

多田野 弘



「追悼の辞」を読まれる多田野弘氏

令和6年度慰霊行事予定(当頭彰会主催及び他団体主催慰霊祭参加予定)

(慰霊行事名)

(期日・場所)

(主催者名等)

1 神雷部隊慰霊祭

3・21(木) 建長寺「神雷戦士の碑」

湘南水交会

2 第45回特攻全戦没者慰霊祭

3・23(土) 靖國神社

(公財) 特攻隊戦没者慰霊顕彰会

3 宮崎県特攻勇士の像慰霊祭

3・28(木) 宮崎縣護國神社

宮崎縣護國神社

4 旧鹿屋航空基地特攻隊戦没者追悼式

4・6(土) 小塚公園内慰霊碑

鹿屋市

5 都城市特別攻撃隊戦没者慰霊祭

4・6(土) 都島公園慰霊碑

都城市特別攻撃隊戦没者奉賛会

6 宮崎特攻基地慰霊祭

4・7(日) 宮崎特攻基地慰霊碑

宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会

7 戦艦大和追悼式

4・7(日) 呉市長迫公園

戦艦大和会

8 第2艦隊慰霊祭

4・7(日) 奈良市大和神社

大和神社

9 徳之島慰霊祭

4・7(日) 犬多布岬慰霊塔

伊仙町慰霊祭実行委員会

10 萬世特攻慰霊碑慰霊祭  
(戦艦大和を旗艦とする第二艦隊戦没者)

4・14(日) 萬世特攻慰霊碑

南さつま市・萬世慰霊碑奉賛会

11 出水市特攻碑慰霊祭

4・16(火) 特攻碑公園慰霊碑

出水市特攻慰霊碑顕彰会

12 國分基地特攻隊員戦没者慰霊祭

4・21(日) 特攻碑公園内特攻機発進の地

霧島市

13 靖國神社春季例大祭(当日祭)

4・22(月) 靖國神社

靖國神社

14 沖繩県特攻勇士の像慰霊祭

4・23(火) 沖繩縣護國神社

沖繩縣護國神社

15 秋田県特別攻撃隊招魂祭

4・29(祝) 秋田市総社神社

招魂祭実行委員会

16 能代特攻像慰霊祭

4・30(火) 能代鎮守八幡神社

東雲飛行場戦没者慰霊顕彰会

- |    |                   |      |     |              |                      |
|----|-------------------|------|-----|--------------|----------------------|
| 17 | 知覧特攻基地戦没者慰霊祭      | 5・3  | (祝) | 知覧特攻平和観音堂    | 南九州市・知覧特攻慰霊顕彰会       |
| 18 | 福岡県特攻勇士の像慰霊祭      | 5・11 | (土) | 福岡縣護国神社      | 福岡県特攻勇士慰霊顕彰会         |
| 19 | 特攻殉国の碑慰霊祭         | 5・12 | (日) | 特攻殉国の碑       | 川棚町新谷殉国の碑保存会         |
| 20 | 三重海軍航空隊「若櫻の碑」慰霊祭  | 5・19 | (日) | 若櫻の碑霊園       | 香良洲神社                |
| 21 | 京都霊山護国神社特攻勇士の像慰霊祭 | 5・25 | (土) | 京都霊山護国神社     | 関西白鷗遺族会              |
| 22 | 義烈空挺慰霊祭           | 5・26 | (日) | 摩文仁丘義烈空挺隊慰霊碑 | 全日本空挺同志会熊本支部         |
| 23 | 千葉県特攻勇士の像慰霊祭      | 5・26 | (日) | 千葉縣護国神社      | 千葉縣護国神社              |
| 24 | 豫科練戦没者慰霊祭         | 5・26 | (日) | 陸自武器学校豫科練之碑  | 海原会                  |
| 25 | 筑波海軍航空隊慰霊の集い      | 5・26 | (日) | 県立こころの医療センター | 筑波海軍航空隊友の会           |
| 26 | 指宿海軍航空基地哀惜の碑慰霊追悼式 | 5・26 | (日) | 指宿海軍航空基地哀惜の碑 | 指宿海軍航空基地哀惜の碑顕彰会      |
| 27 | 義烈空挺隊慰霊祭          | 6・2  | (日) | 摩文仁丘義烈空挺隊慰霊碑 | 全日本空挺同志会沖繩支部         |
| 28 | 大東亜戦争全戦没者合同慰霊祭    | 7・13 | (土) | 靖國神社         | (公財)大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会 |
| 29 | 山形回天錨地蔵尊御霊祭       | 7・15 | (祝) | 錨地蔵尊         | 錨地蔵尊奉賛会              |
| 30 | 三重県特攻勇士の像慰霊祭      | 8・9  | (金) | 三重縣護国神社      | 英靈にこたえる会三重県本部        |
| 31 | 国分第二基地十三塚原特攻隊慰霊祭  | 8・15 | (木) | 十三塚原海軍特攻碑    | 霧島高原ビル(株)            |
| 32 | 全国戦没者慰霊大祭         | 8・15 | (木) | 靖國神社         | 英靈にこたえる会             |
| 33 | 戦歿学徒慰霊祭           | 9・1  | (日) | 広島護国神社       | 戦歿学徒慰霊祭実行委員会         |
| 34 | 高野山慰霊祭            | 9・8  | (日) | 高野山「空」の碑     | 全日本空挺同志会             |
| 35 | 楠公回天祭             | 9・8  | (日) | 信貴山山王坊       | 回天楠公社奉賛会             |

36	第73回特攻平和観音年次法要	9・22	(祝)	世田谷山観音寺特攻観音堂	世田谷山観音寺 (公財)特攻隊戦没者慰霊顕彰会
37	鉦田陸軍飛行学校慰霊祭	10・6	(日)	鉦田陸軍飛行学校跡	鉦田陸軍飛行学校顕彰碑奉賛会
38	茨城県特攻勇士の像慰霊祭	10・6	(日)	茨城県護國神社	茨城県特攻戦没者慰霊顕彰会
39	長野県特攻勇士の像慰霊祭	10・10	(木)	長野縣護國神社	長野縣護國神社
40	靖國神社秋季例大祭(当日祭)	10・18	(金)	靖國神社	靖國神社
41	千鳥ヶ淵戦没者墓苑秋季例大祭	10・18	(金)	千鳥ヶ淵戦没者墓苑	千鳥ヶ淵戦没者墓苑奉仕会
42	旧海軍航空隊串良基地出撃戦没者追悼式	10・19	(土)	串良平和公園慰霊塔前	鹿屋市
43	明野忠魂塔慰霊祭	10・19	(土)	陸自航空学校・明野忠魂塔前	明野忠魂塔顕彰会
44	大阪特攻勇士之像慰霊祭	10・20	(日)	大阪護國神社	大阪特攻勇士之像慰霊顕彰会
45	長崎県特攻勇士の像慰霊祭	10・20	(日)	長崎縣護國神社	長崎縣護國神社
46	神風特別攻撃隊戦没者慰霊祭	10・25	(金)	西条市檜本神社	神風特別攻撃隊五軍神 特攻戦没者奉賛会
47	神風特攻隊慰霊碑参拝	10・25	(金)	比島マバラカット	マバラカット市
48	高知県特攻勇士の像慰霊祭	10・26	(土)	高知縣護國神社	高知県特攻戦没者慰霊顕彰会
49	埼玉県特攻勇士之像慰霊祭	10・31	(木)	埼玉縣護國神社	埼玉県特攻隊慰霊祭斎行委員会
50	回天烈士並びに回天搭載戦没潜水艦乗員追悼式	11・10	(日)	大津島・回天慰霊碑前	周南市大津島回天顕彰会
51	若潮慰霊祭	11・23	(祝)	小豆島富丘八幡神社	若潮の塔奉賛会

(日時等詳細は顕彰会事務局又は主催団体等にお問い合わせ下さい。)